

川崎市の教員に求められる資質能力 —川崎市教員育成指標—

平成30年3月20日策定

川崎市教員育成指標は、川崎市の公立学校教員が、教員の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき教員としての資質能力を示したもので、それぞれの教員が、自ら目標を定め、自ら学び続けるための目安となるものです。

		ステージⅠ	ステージⅡ	ステージⅢ	
		主に、採用1校目終了時までの教員 新規採用教員研修 2年目教員研修 3年目教員研修 臨時的任用教員研修 どだい ド	主に、2校目異動から20年経験程度の教員 2校目異動者研修 中堅教諭等資質向上研修 15年経験者教員研修 みんな	20年経験程度以上の教員、総括教諭及び教頭・副校長 新任総括教諭研修 新任教頭研修 教頭研修 そしき	
		○教員としての土台となる資質能力を身に付ける 教員としての基盤となる資質能力を身に付け、積極的に実践を積み重ね、授業力や子どもを理解する力を高めます。	○みんなをつなぎ自ら専門性を高める モデルリーダーとして、自らの実践をもとにベテランと若手をつなぎ、専門性を高めるとともに、自らもチームの一員として成長し続けます。	○組織と人を育てる力を高める 学校組織の活性化を図り、特色ある学校づくりのために、リーダーシップを発揮し、創造的な組織力を高めます。	
教員としての基礎的資質能力	教員として学び続ける力	日々の教育活動を振り返り、教員として成長するために学び続ける	日々の教育活動を振り返りながら、子どもや社会の変化を見据え、同僚とともに教員として成長するために学び続ける	子どもや社会の変化を見据え、教職員集団として成長するために自ら学び続ける	
	人間性を高め続ける	教員としての使命感や熱意、子どもに対する責任感や深い愛情、適切な人権感覚、及び、社会人としての礼儀や規律、教育公務員としての自覚を持ち、それら高め続ける			
	社会性を高め続ける	社会人として、社会の状況を把握し、適切な表現力・コミュニケーション能力を持ち、子どもや保護者・地域、同僚等との良好な人間関係を構築し、協働的に職務を遂行する			
	自らを律する	健康管理と基本的な生活習慣の維持を行うとともに、法令や規則、及び、時間や提出期限等の順守等、職務遂行のための業務管理及び自己管理を行う			
教員としての専門的資質能力	学習指導等	授業を計画・実施・改善する力	学習指導要領等を理解し、既習事項や子どもの実態を把握したうえで、教材を吟味し、身に付けさせたい資質能力を明確にした授業を計画・実施するとともに、日々の授業を振り返って改善する	身に付けさせたい資質能力を育成する適切な授業を計画・実施するとともに、校内外の研究、研修での実践等に取り組み、自らの授業力を高めるとともに、その成果の共有を図る	教員相互に高め合う機運を醸成し、授業力向上に向けて、校内研究会等を通して、学校全体での授業改善を推進する
		学習意欲を喚起する	子どもの学習状況や実態に応じて教材や指導方法を工夫し、楽しい、わかりたいと思う授業を実践する	学習意欲を喚起し、子どもが主体的に学ぶことのできる授業を行うとともに、その成果を校内研究等で実践し、同僚等と協働的に授業改善を図る	子どもが主体的に学ぶ授業の実現に向けた、適切な指導助言や取組を行い、学校全体の授業力向上を推進する
		わかる授業を実践する	子どもの学習状況や実態に応じて、目標の実現に向けた授業を工夫し、わかる喜びを感じさせることのできる授業を実践する	わかる授業の実現に向けた教材研究・開発等を行うとともに、その成果を校内外の研究等で実践し、同僚等と協働的に授業改善を図る	わかる授業の実現に向けた、適切な指導助言や取組を行い、学校全体の授業力向上を推進する
		適切に評価して指導に生かす	子どもの学習状況を適切に把握し、学習指導・評価を行うとともに、次の指導に生かす	子どもの学習状況を踏まえた適切な指導・評価を行うとともに、協働的に指導と評価の改善を進める	学校全体で組織的に指導と評価の改善を推進する
	児童生徒指導等	子どもを理解して育てる力	子どもの発達段階とその特徴を踏まえ、一人ひとりの個性を理解してチームの一員としての自覚をもって子どもに向き合う	子どもの発達段階とその特徴を踏まえ、一人ひとりの個性を理解するとともに、教職員間で共通理解を図り、チームで対応することの大切さを自覚して、子どもに向き合う	子ども一人ひとりの個性を理解し、尊重した教育活動が展開できるよう、教員への助言や子ども理解の充実の工夫を行う
		よりよい人間関係を育てる	学級経営等を通して、子どもとの信頼関係や子ども相互のよりよい人間関係を育てる	学校や学年の目標を踏まえ、学級・学年経営を軸にして、同僚と連携して、子ども相互のよりよい人間関係を構築する	学校教育目標等を踏まえ、教員や子どもの状況を把握し、学級や学年への支援や連携を図り、子ども相互及び子どもと教員とのよりよい人間関係を構築する
		個に応じた指導を行う	一人ひとりのニーズに応じた指導について学び、実践する	一人ひとりのニーズに応じた指導について、情報共有しながら工夫改善し、実践する	一人ひとりのニーズに応じた指導について、指導体制を構築し、組織的に対応・実践する
		社会的自立に向けて支援する	子どもの社会的自立に向けて必要な能力や態度を培うために、学年等で協力し合って取組を進める	子どもの社会的自立に向けた効果的な方法を教育活動に適切に位置付け、学年等で意図的、計画的に推進する	子どもの社会的自立に向けた取組を、教育課程に適切に位置付け、学校全体で計画的、組織的に推進する
	学校マネジメント	役割と組織を意識して取り組む力	学年組織や校務分掌等の必要性について理解し、学校組織の一員としての自覚を持ち、その役割を果たそうとする	組織での役割や責任を自覚し、若手教員への助言や役割同士の連携等を図りながら、よりよい教育活動の実施に参画する	教職員が適切に役割を分担しつつ、相互に連携しながら、教育活動が進められるよう、組織的な取組を推進する
		信頼される学校をつくる	組織で求められる役割を理解して行動するとともに、子どもの安全安心を常に配慮し、危機や課題に対する迅速な報告、連絡、相談を行う	チームとして子どもの成長を促し学校安全等の多様な課題に対応するとともに、危機の予測、未然防止及び早期発見、早期対応に取り組む	学校全体で教職員の人材育成に継続的に取り組み、組織を改善しつづける。また、学校安全に対する意識を高くもち、関係諸機関と連携しながら、学校の危機管理体制を整備する
		特色ある学校をつくる	学校教育目標や学校経営方針等を理解して行動するとともに、保護者・地域等と積極的に関わり、連携・協働して魅力ある教育活動を行う	学校教育目標や学校経営方針等を理解し、その実現に向けた教育活動を工夫改善するとともに、保護者・地域等と連携・協働して魅力ある学校づくりに参画する	学校教育目標や学校経営方針等に基づいて教育課程を編成するとともに、保護者・地域等と共有し、連携・協働のもと、社会に開かれた特色ある学校づくりを推進する

※養護教諭、栄養教諭については、教員として身に付けさせたい資質能力として関連のある指標について適用し、専門的な職務内容の指標については今後策定します。